事業名	期日	場所
木質チップ生産連絡協議会設立会	２月２１日	消防２階会議室

活動内容	願い
適切な森林管理と循環する仕組みの課題と林業振興の課題の一つに、森林資源の有効活用があります。特に、林地残材の搬出、間伐材の搬出は喫緊の課題でその利活用と連動した取り組みが必要となります。 別な観点では、今金町で取り組んでいる体質強化事業の暗渠疏水材・被覆材としてのチップの需要が求められ、26 年度から本格的に工事着工される国営緊急農地再編整備事業における膨大なチップの需要が見込まれます。このことの対策としてチップの生産、安定供給体制を構築するべく、檜山管内における森林面積の４４％を占める瀬棚・今金町の蓄積されている人工林を地材地消の観点での需給体制を講ずべく、檜山振興局の尽力を頂き協議会を発足しました。	約１万２千 ha の人工林の間伐材、林地残材をチップ化して活用すべく、関係機関、企業１５団体により構成し、それぞれの立場から生産体制に結集したところです。 国営事業は、今後 10 年余は継続されることと、使用量も計画性が持てることから、森林林業活性化の見通しは明るく、大いに期待の出来る取り組みになるものと確信しているところです。 今後、調査研究や具体的な事業促進内容について協議を重ねて参りたいと考えております。





